

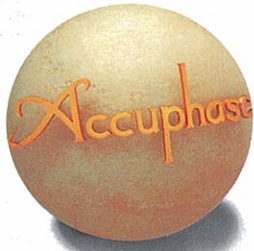
Accuphase

STEREO CONTROL CENTER

C-265

●ラインアンプに優れた安定度のカレントフィードバック増幅回路●ブリッジ・フィードバック方式のバランス出力回路●各増幅回路独立、完全ユニット化●オプションでアナログレコード再生可能●ロジック・リレーコントロール回路による最短の信号経路●バランス入力装備●リモートコマンダー付属





バランス伝送方式の新プリアンプ——ラインアンプに、優れた音質と安定度を誇る『カレント・フィードバック増幅回路』を採用。左右独立電源トランス、機能別ユニット・アンプ構成による完全モノ・コンストラクション。オプション・ボード増設により、アナログ・ディスクも高音質再生可能。

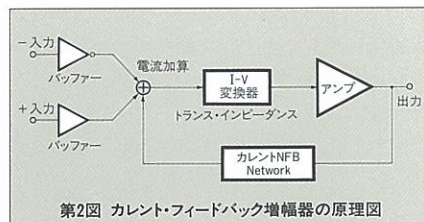
C-265は、アキュフェーズの伝統的バランス伝送技術を踏襲、ラインアンプ部をカレント・フィードバック増幅回路で構成し、徹底したクオリティ重視の設計と高音質再生を目指し完成したステレオ・コントロールセンターです。また本機は、純粋なラインアンプ構成ですが、リアパネル側にオプションのアナログ・ディスク入力ボードを増設することにより、極上のレコード再生が可能になります。

ソース側やパワーアンプなど接続される機器の個性を素直に引き出すためのプリアンプは、信号伝送途中での音質劣化がないことが重要な要素になります。本機は、雑音成分の除去能力に優れたバランス伝送を基本に設計し、特にバランス出力部には、対称型の『ブリッジ・フィードバック』による完璧なフローティング・バランス回路を構成しました。ラインアンプには、すでにアキュフェーズのオリジナルとしてその効果が高く評価され、特性・音質面で実績のある、カレント・フィードバック増幅回路を採用しました。この方式は、高域の位相の乱れが少なく、また利得の変化による周波数特性の変動もない理想的な増幅方式です。このため、音質に影響を与える高域での位相補償の必要はほとんどなく、少量のNFBで諸特性を改善できます。

回路を構成しているアンプは、機能別にユニット化し、それぞれ厚手のアルミ押し出し材でしっかりと固定、電氣的遮断と機械的振動に対処しています。各ユニットアンプはもちろん、電源トランス、フィルターコンデンサーも左右独立した完全モノ・コンストラクションによりアンプ相互間の干渉を徹底的に防止しました。加算型アクティブ・フィルター方式を採用したトーン・コントロールやコンベンサー等の音質調整、ロジック・リレーコントロールによる信号切替、バランス入力など音の純度を徹底的に追求、音質・性能を極限まで練り上げました。

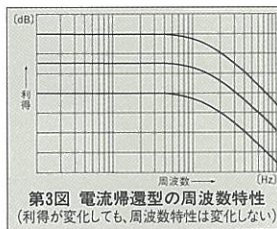
ラインアンプ部に、位相回転のないカレント・フィードバック増幅回路を採用

諸特性を改善するため、出力信号の一部を入力に戻すのが、NFB(負帰還)です。本機では出力信号を電流の形で帰還するカレント・フィードバック(電流帰還型)増幅回路を採用しました。第2図にその基本原理図を示します。まず帰還側



の入力端子のインピーダンスを下げて電流を検出します。その電流をトランスインピーダンス増幅器でI-V(電流-電圧)変換し、出力信号を作ります。帰還入力部分(第2図の電流加算部分)のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生し難く、その結果位相補償の必要は殆どありません。このように、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できるため、立ち上がり等の動特性に優れ、自然なエネルギー応答により音質を大幅に改善します。

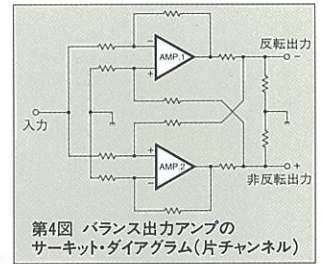
第3図に電流帰還増幅器の利得差による周波数特性を示します。利得の変化にかかわらず、広帯域にわたって一定の特性であることが分かります。



ブリッジ・フィードバック方式のバランス出力回路

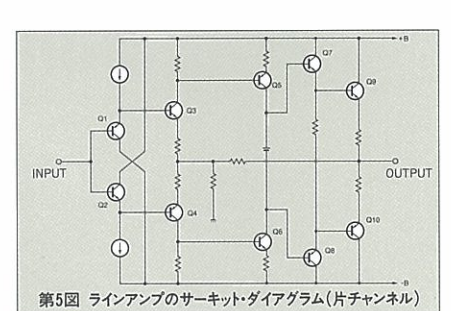
バランス伝送は、お互いに位相が反転した正負対称信号を同時に送る方式で、コモンモードの

雑音成分を除去する能力に優れ、高音質再生にはなくてはならない存在です。第4図が本



機のバランス伝送出力回路です。AMP1、AMP2の2組のアンプは、それぞれの出力を相手側にフィードバックするという、たすき掛けの関係にあり、+-の対称信号を低いインピーダンスで送り出します。この回路の特長は、+-の対称信号がグラウンドからフローティングされているため、出力の片側をアースしても両方のアンプが作動して、出力電圧が変化しません。

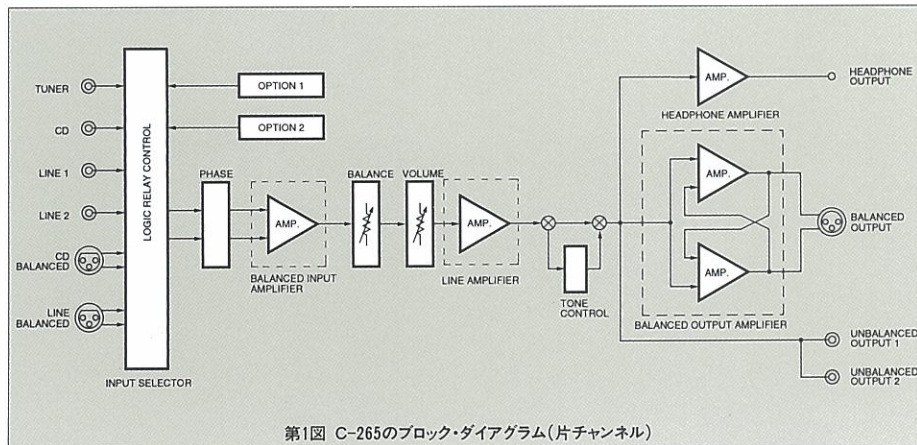
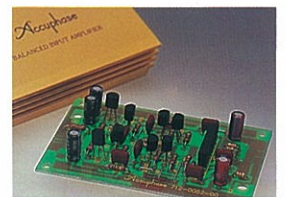
音質重視の本格的ディスクリット型ラインアンプ



つで構成しました。これにより各段の位相補償も軽くすることができ、豊かな音場感と自然な雰囲気を実現する原動力になっています。また、ボリュームの手にゲインを持ったバランス入力アンプを置き、ボリュームの後にこのラインアンプを配置していますので、ボリュームを絞った実用域でのS/N改善に抜群の威力を発揮します。

機能別に増幅回路独立、完全ユニットアンプ化

本機の主な回路は、バランス入力アンプ、ラインアンプ、バランス出力アンプの左右合計6ユニットアンプで構成しています。これらのユニットアンプは、相互干渉しないように、厚手のアルミ押し出し材で固定、外部振動による共振も完全に防止しています。



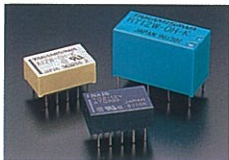
第1図 C-265のブロック・ダイアグラム(片チャンネル)

左右独立した専用電源トランスを搭載、各ユニット毎に電源回路を装備

電源トランス、フィルター・コンデンサーとも左右独立し、電氣的に完全にモノフォニック構成になっています。これにより、電源部を介してのチャンネル間クロストークをほぼ完全になくしています。さらに各ユニットアンプに専用の広帯域電源回路を搭載することにより、アンプ間の相互干渉を徹底的に防止しました。

高信頼を誇るロジック・リレーコントロール信号切替回路

最短でストレートな信号経路を構成するロジック・リレーコントロール方式を採用しました。



これに使用するリレーには通信工業用の密閉形リレーを採用し、その接点は金貼り・クロスパーツイン方式で、低接点抵抗・高耐久性の極めて質の高いものです。

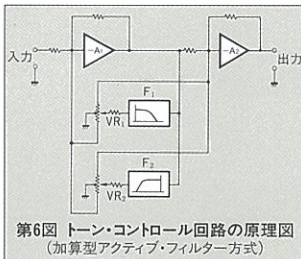
音質重視の専用ヘッドフォン・アンプ回路を内蔵

ヘッドフォン専用のアンプを設けて高音質化

に努めました。出力ON/OFFスイッチでパワーアンプへの出力を切り、メインボリュームでヘッドフォン出力を可変することができます。

音質の優れた、加算型アクティブ・フィルター方式トーン・コントロール

本格的なグラフィック・イコライザーに使用される加算型アクティブ・フィルター方式のトーン・コントロールを搭載しました。

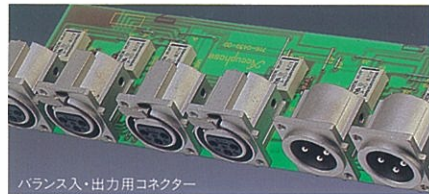


この原理図は第6図の通りで、本来のフラット信号はストレートに通過し、必要に応じてF₁、F₂で特性を作り、フラット信号から加減させる方式で、最も音質の優れた方式です。

バランス入力も備えた多入力端子

入力セレクター側で8系統 (オプション2系統含む)、テープレコーダー2系統を入力することがで

きます。この内バランス入力を、CD及びLINEの2系統用意しています。バランス接続は、外来雑音から完全にフリーになり、良質な信号伝送が可能です。



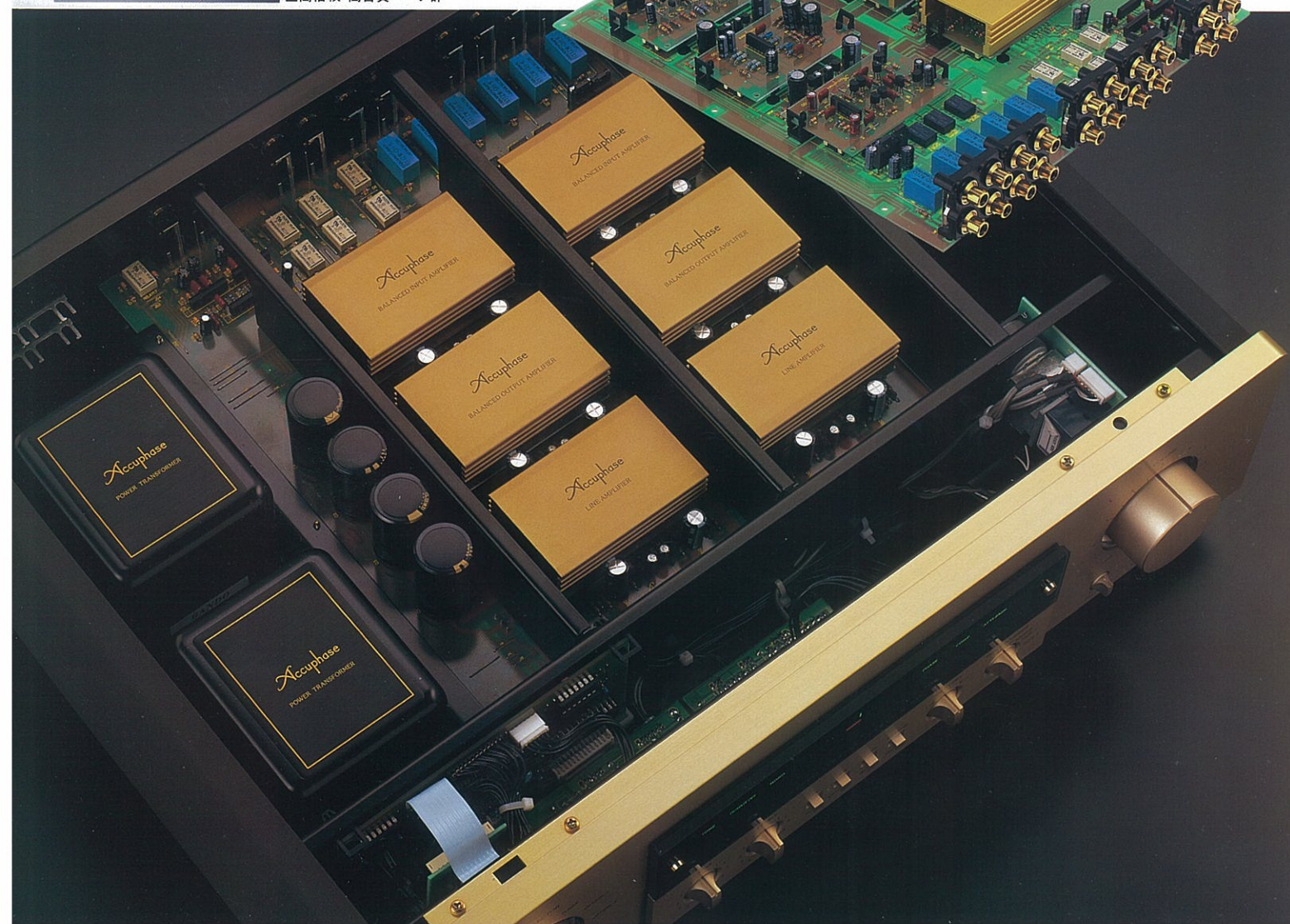
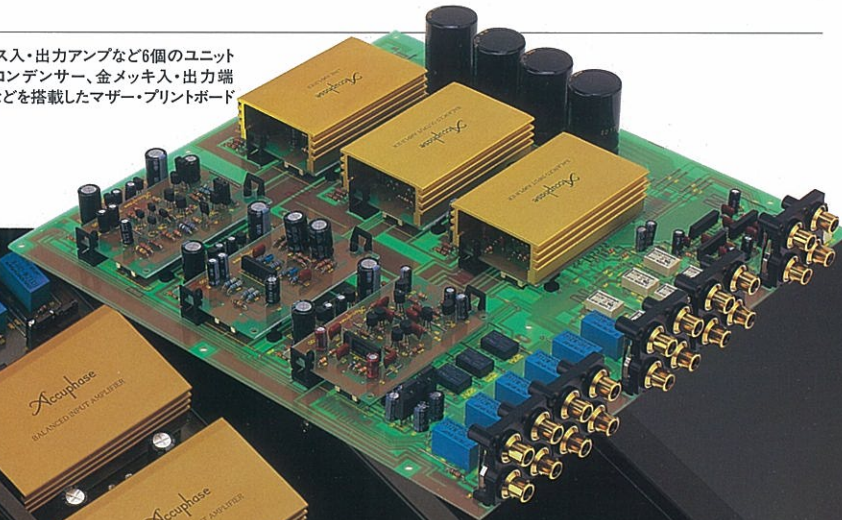
高音質・音量調整器の採用。音量および入力ソースを遠隔操作するリモート・コマンドを付属

再生音の質を大きく左右する音量調整器には、特にひずみ率の小さい抵抗体を使用した、高音質タイプを採用しました。この高級音量調整器とクラッチ付の小型モーターとを組み合わせ、リモート・コマンドによる、スムーズな音量コントロールを可能にしています。



■高信頼・高音質パーツ群

■ラインアンプ、バランス入・出力アンプなど6個のユニットアンプ、フィルター・コンデンサー、金メッキ入・出力端子、切替用リレー群などを搭載したマザー・プリントボード

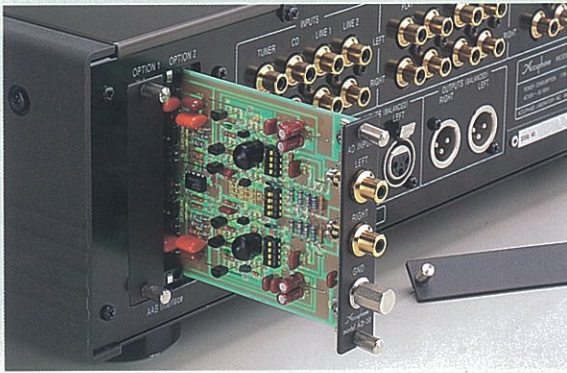


オプション・ボード

*表示価格は税別です。

リアパネルに、オプションを簡単に挿入できるスロットが装備されています(AAB Interface規格に対応)。2種類のオプション・ボードが用意されていますので、用途に応じて増設してください。

・空いているスロットに、任意のオプション・ボードを増設することができます。



ライン入力端子を追加……

ライン入力ボード LINE-10

アンバランス方式の一般的なハイレベル入力端子。
CDプレーヤー、チューナーなどアナログ信号を再生。

標準価格 8,000円

アナログ・レコードの再生には……

アナログ・ディスク入力ボード AD-10

アナログ・レコードを高音質再生。
高性能ハイゲイン・イコライザーの搭載により、いかなるカートリッジにも対応可能。

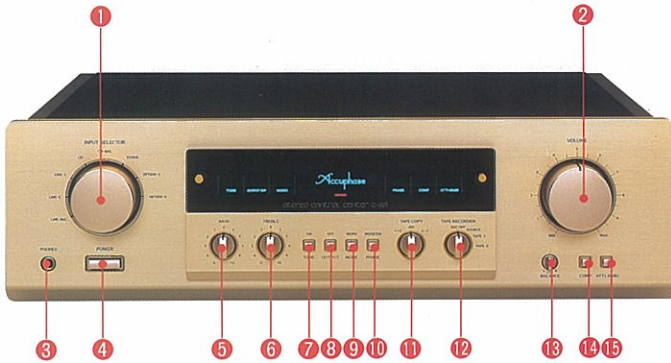
内部ディップスイッチにより、MM/MC切替、MC入力インピーダンス、サブソニック・フィルタON/OFFを設定。

MM ゲイン: 29dB 入力インピーダンス: 47kΩ
MC ゲイン: 60dB 入力インピーダンス: 10/30/100Ω切替

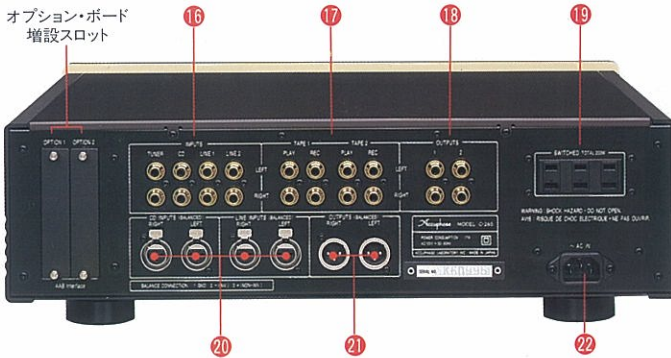
標準価格 50,000円

*2種類のボードは、AAB(Accuphase Analog Bus)Interface規格に対応しています。

■フロントパネル



■リアパネル



- ① 入力セクター
LINE-BAL LINE-2 LINE-1 CD CD-BAL
TUNER OPTION-1 OPTION-2
- ② ボリューム
- ③ ヘッドフォン・ジャック
- ④ 電源スイッチ
- ⑤ 低音コントロール
- ⑥ 高音コントロール
- ⑦ トーンコントロールON/OFFボタン
- ⑧ 出力ON/OFFボタン
- ⑨ ステレオ/モノ切替ボタン
- ⑩ 位相切替ボタン
- ⑪ テープコピー・スイッチ 1→2 OFF 2→1
- ⑫ 録音出力/テープモニター・スイッチ
REC OFF SOURCE TAPE-1 TAPE-2
- ⑬ 左右音量バランス・コントロール
- ⑭ コンベンセーター・ボタン
- ⑮ アッテネーター・ボタン
- ⑯ ライン入力端子
- ⑰ テープレコーダー録音・再生端子
- ⑱ アンバランス出力端子(2系統)
- ⑲ ACアウトレット(電源スイッチに連動)
- ⑳ CD/LINE/バランス入力コネクター
①グラウンド②インバート(-)③ノン・インバート(+)
- ㉑ バランス出力コネクター
- ㉒ AC電源コネクター(電源コードは付属)

C-265 保証特性

*保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる。AD:アナログ・ディスク。
*アナログ・ディスク入力ボードAD-10増設時を示す。

- 周波数特性 BALANCED/UNBALANCED: 3~350,000Hz +0 -3.0dB
: 20~20,000Hz +0 -0.2dB
- 全高調波ひずみ率 (全ての入力端子にて) AD INPUT: 20~20,000Hz ±0.2dB
0.005%
- 入力感度・入力インピーダンス

入力端子	入力感度		入力インピーダンス
	定格出力時	0.5V出力時	
AD:MM INPUT	8.9mV	2.2mV	47kΩ
AD:MC INPUT	0.25mV	0.063mV	10/30/100Ω切替
BALANCED	252mV	63mV	40kΩ
UNBALANCED	252mV	63mV	20kΩ

- 定格出力・出力インピーダンス BALANCED/UNBALANCED OUTPUT: 2V 50Ω
TAPE REC(AD入力時) : 252mV 320Ω
- S/N・入力換算雑音

入力端子	入力ショート(A-補正)		EIA S/N
	定格出力時S/N	入力換算雑音	
AD:MM INPUT	92dB	-133dBV	85dB
AD:MC INPUT	75dB	-147dBV	80dB
BALANCED	106dB	-118dBV	99dB
UNBALANCED	105dB	-117dBV	99dB

- 最大出力レベル BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 6.0V
(ひずみ率 0.005% 20~20,000Hz) TAPE REC : 6.0V
- 最小負荷インピーダンス BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 600Ω
TAPE REC : 10kΩ
- ゲイン BALANCED/UNBALANCED INPUT→BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 18dB
AD:MM INPUT→BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 47dB
AD:MC INPUT→BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 78dB
- トーン・コントロール ターンオーバー周波数および可変範囲
低音: 300Hz ±10dB(50Hz)
高音: 3kHz ±10dB(20kHz)
- コンベンセーター +6dB(100Hz): VOLUME -30dBにて
- アッテネーター -20dB
- ステレオ・ヘッドフォン 適合インピーダンス 4~100Ω
- 電源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力 17W
- 最大外形寸法 幅475mm×高さ150mm×奥行404mm
- 質量 15.8kg

- 付属リモート・コマンドー リモコン方式 : 赤外線パルス方式
RC-20 電源: DC 3V・乾電池 単3形(SUM-3/R6)2個使用
最大外形寸法: 55mm×194mm×18mm
質量 : 100g(電池含む)

■標準価格 330,000円(税別)

*本機の特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

Accuphase

ACCUPHASE LABORATORY INC.

アキュフェーズ株式会社

〒225 横浜市青葉区新石川2-14-10

TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052

http://www.accuphase.com/

PRINTED IN JAPAN G9710Y 850-0134-00(AD2)